

令和8年度

運営に関する計画

大阪市立横堤小学校

## 令和8年度 運営に関する計画

### 【学校経営の重点】

- ◇ 生きる力・夢みる力の育成
  - かしこく やさしく たくましく—

### 【本市の教育における最重要目標】

- (1) 安全・安心な教育の推進
- (2) 未来を切り拓く学力・体力の向上
- (3) 学びを支える教育環境の充実

### 【本校の教育目標】(校訓)

- ◇ よく考える子
- ◇ たくましい子
- ◇ 思いやりのある子

### 《具体的方策》

- 1 基礎的・基本的な内容の確実な定着と、児童の活発な意見をもとにした学習活動を充実し、自ら考え、意欲的に解決する力を育む
- 2 豊かな体験的活動を通して、個性を尊重し、互いに認めあう集団の育成を図り、思いやる心や感動する心を育む
- 3 自らの健康や体力に関心をもち、健康でたくましい心身を養い、自律的な生活習慣や態度を育む
- 4 今日的課題に対応する教育を充実させ、自らの判断で、生きるべき道を選択し、決定するとともに、社会の変化に的確に対応できる力を育む
- 5 地域・保護者の学校支援体制を構築し、家庭や地域の教育力を活かした教育活動を進めるなかで、地域の伝統行事への積極的な参加とともに、地域の一員である自覚と感謝する心を育む

### 《めざす児童像 ～3つの“C”～》

- ◇ 進んで学ぶ子ども (Challenge)
- ◇ なかよく助け合う子ども (Communication)
- ◇ 明るく元気な子ども (Cheerful)

## 大阪市立横堤小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価

## 1. 現状と課題

## 【現状】

本校では、年度ごとに全国学力・学習状況調査等、各種調査及び学校評価アンケート（保護者・児童）における調査結果の分析を踏まえ、横堤小学校「学校教育改善アクションプラン」を策定し、教育活動を進めている。今年度も2つの「きょういく」（共育・響育）をテーマに、「確かな学力の向上」・「豊かな心の育成」・「体力の向上」に取り組んでいく。（令和8年度「横堤小学校 学校教育改善アクションプラン」参照）

学力経年調査では、大阪市平均と本校との標準化得点のポイント差は、以下の通りであった。

	国語	社会	算数	理科	英語
3年生	-0.4	+2.0	-3.1	+2.0	
4年生	+5.4	+2.0	+2.8	+1.0	
5年生	-0.7	-0.2	-0.1	+2.0	+2.0
6年生	-2.7	+1.0	-1.9	+1.0	+1.0

平均正答率については概ね大阪市平均を上回っているものの、それぞれの学年において教科によっては、大阪市平均を下回った。3年生の算数、6年生の国語と算数においては標準化得点ポイントの差がマイナス1ポイント以上あった。

全国体力・運動能力、運動習慣等調査（5年生対象）の結果では、本市の指標の1つとなっている体力合計点が、男女ともに大阪市平均・全国平均を上回った。

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	17.52	18.28	29.72	37.55	49.81	9.45	153.24	20.76	51.57
女子	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.57	15.86	35.21	34.61	33.62	10.12	132.23	11.56	49.42

## 【課題】

学力向上の取り組みについては、経年調査の結果からもわかるように、全体的に大阪市平均を上回ってきた。しかし、国語や算数においては、学年による差異はあるものの、大阪市平均よりも低い結果となった。このことから、読み・書き・計算といった基礎基本を中心に、低学年からの学力向上に努めていく。

体力向上の取り組みとしては、結果をもとに年間を通して「横堤グランドスラムチャレンジカード」の活用と改善を行い、児童の体力向上に努める必要がある。

各種アンケート結果から、「児童の自尊感情・自己有用感」の項目が他の項目よりも低いことがわかる。そのため、今年度も引き続き「2つのきょういく『共育』（共に学び育む教育）『響育』（心に響く教育）」を本校の教育方針として、『横堤小学校 学校教育改善アクションプラン』を更に良いものへとしていきたい。

## 【安全・安心な教育の推進】

### 中期目標

- 全国学力・学習状況調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80.0%以上にする。
- 全国学力・学習状況調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88.0%以上にする。

### 年度目標

- 小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を65.0%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80.0%以上にする。

## 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

### 中期目標

- 全国学力・学習状況調査における、国語の平均正答率の対全国比を、1.00ポイント以上にする。
- 全国体力・運動能力、運動習慣調査における体力合計点の対全国比を1.00ポイント以上にする。
- 小学校学力経年調査における「規則正しい生活(「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること)」が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90.0%以上にする。

### 年度目標

- 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75.0%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「規則正しい生活(「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること)」が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80.0%以上にする。

## 【学びを支える教育環境の充実】

### 中期目標

- 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80.0%以上にする。
- 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。

### 年度目標

- 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70.0%以上にする。
- 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月30時間以下とする。

## 【独自目標】

### 中期目標

- 校内アンケートにおける「ものをつくったり描いたりするのに興味がありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80.0%以上にする。

### 年度目標

- 校内アンケートにおける「ものをつくったり描いたりするのに興味がありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70.0%以上にする。

### 3. 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立横堤小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した  
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【安全・安心な教育の推進】</b></p> <p>●小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を65%以上にする。 (令和7年度経年 平均57.8%)</p> <p>●小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 (令和7年度経年 平均78.0%)</p>	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組み内容1 基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「心の天気」を毎日入力を促し、児童の変化(雨や雷)を見取って声をかける。</li> <li>・スクールライフノートの相談機能をより効果的に活用する方法を考える。</li> <li>・学年集会や交換授業などを通して、担任以外の教員とも関わりを実感し、相談しやすい関係を作れるようにする。</li> </ul> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全校児童の「心の天気」の月間入力率を90%以上にする。</li> <li>・スクールライフノートの相談機能の活用方法について1学期中に報告をする。</li> <li>・「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、1学期末2学期末に校内アンケートをとる。</li> </ul>	
<p><b>取組み内容2 【基本的な方向2 豊かな心の育成】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳科や特別活動の時間等を活用し、児童が互いのよさを認め合える活動を設定する。</li> <li>・普段の授業においても、発表やペアワーク、グループワーク等一人一人の児童が活躍できる機会を作る。</li> </ul> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が互いのよさを認め合える活動を月に1回以上設定するにおいて、校内教員アンケートで「活動設定できた」の回答を80%以上にする。</li> <li>・一人一人の児童が活躍できる機会を毎日1回以上作り、校内教員アンケートで「活動できた」の回答を80%以上にする。</li> </ul>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
後半への改善点	

大阪市立横堤小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【未来を切り開く学力・体力の向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。 (令和7年度経年 平均0.99ポイント)</li> <li>●小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。 (令和7年度全国体力調査 平均68.8%)</li> <li>●小学校学力経年調査における「規則正しい生活(「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること)」が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 (令和7年度経年 平均79.2%)</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取り組み内容1【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究教科である国語科の研究授業を実施する。</li> <li>・研究授業後には、指導力向上を目的とした研究討議会(国語科研修)を実施する。</li> <li>・朝学習において読解プリントに取り組む機会を設け、継続的に読解力の向上を図る。</li> </ul> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究教科である国語科の研究授業を年間6回実施する。</li> <li>・研究授業後には、指導力向上を目的とした研究討議会(国語科研修)を年間6回実施する。</li> <li>・週1回、朝学習において読解プリントに取り組む機会を設け、継続的に読解力の向上を図る。</li> </ul>	
<p><b>取り組み内容2【基本的な方向5 健やかな体の育成】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「横堤グランドスラムチャレンジカード」を活用するために、運動委員会によるチャレンジ週間(毎月4週目)を実施し、クリアした児童を表彰する。</li> <li>・横堤グランドスラムチャレンジカードの活用が少ない実態から、種目の実演動画を作成し、チャレンジカードの理解を深め、体育の学習や外遊びでの活用を通して、児童の挑戦意欲と達成感を高める。</li> </ul> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「横堤グランドスラムチャレンジカード」を活用するために、運動委員会によるチャレンジ週間を毎月1回実施し、クリアした児童を学期に1回表彰する。</li> <li>・横堤グランドスラムチャレンジカードの、種目の実演動画を1学期中に作成し、チャレンジカードの理解を深め、体育の学習や外遊びでの活用を通して、児童の挑戦意欲と達成感を高める。</li> </ul>	
<p><b>取り組み内容3【基本的な方向5 健やかな体の育成】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校保健委員会で「睡眠」について取り組み、校内でも伝達、共通理解することで、教員、児童、保護者が、睡眠の重要性と役割についての認識を深める。</li> <li>・長期休業(夏休み、冬休みなど)の前や1月の「ヘルシーウィーク」の機会に、「規則正しい生活(朝</li> </ul>	

<p>食を食べること・同じくらいの時刻に起きること)」の大切さについて学級で取り組む。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1学期に、5, 6年生とPTAに対して睡眠についての出前授業を行う。</li> <li>・「規則正しい生活(朝食を食べること・同じくらいの時刻に起きること)」の大切さについて学級で年間3回以上指導する</li> </ul>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>後半への改善点</p>	

大阪市立横堤小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した  
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p>●小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。 (令和7年度経年 平均61.9%)</p> <p>●教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月30時間以下とする。 (令和7年度平均19時間10分)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組み内容1【基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】</b></p> <p>・発表ノートや SKYMENU、Teams、Canva、Classroom、スプレッドシート等の共有ツール活用し児童の思考を可視化、比較することで、多様な視点に触れさせ、学びの深まりを図る。</p>	
<p>指標</p> <p>・児童が学習者用端末を用いて自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したりする機会を月に1回以上設定する。 ・校内アンケートを実施し、令和8年度中間時に肯定的回答を65%以上にする。</p>	
<p><b>取組み内容2【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</b></p> <p>・週に1回以上「ゆとりの日」を設定し、管理職も含め 17:30 退勤をめざす。 ・生成 AI パイロット校として校務にかかる時間を生成 AI を活用して削減を図る。</p>	
<p>指標</p> <p>・毎月の時間外勤務時間表を公表し、全教職員の意識を高める。 ・「学校園の働き方ビジョン」に掲げる長時間勤務の解消とともに、教員の勤務時間の上限に関する基準1(1か月の時間外勤務時間が45時間を超えないようにすること)を満たす教員の各月の割合を昨年度より上げる。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
後半への改善点	

年度目標	達成 状況
<p><b>【独自目標】</b></p> <p>●校内アンケートにおける「ものをつくったり描いたりするのに興味がありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。</p>	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p><b>取り組み内容1</b></p> <p>・教員の技術向上や感性を育てることで、児童の学びの深まりを図る。</p> <hr/> <p><b>指標</b></p> <p>・「道具や材料でものを作ったり描いたりするのに興味がありますか」に対して、1学期末と2学期末に校内アンケートを実施する。</p> <p>・図工の校内研修を年1回以上行う。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
後半への改善点	